


## 平成30年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

<b>1 学校名</b>	佐賀県立神埼高等学校		
<b>2 所在地</b>	神崎市神埼町田道ケ里 2213 番地		
<b>3 校長名</b>	城野 裕徳		
<b>4 学級数</b>	10学級	<b>5 実施学年</b>	1年118人
児童生徒数	388人	児童生徒数	3年39人
<b>6 取組のねらい</b>	<p>障害のある生徒と学校生活を共にし、生徒同士がお互いを理解しあいながら多様性に気づき、相手を尊重する心の育成や充実した高校生活がおくれるような生活空間づくりをする。また、UD の考えを取り入れた調理器具を実習で使用し、どのような工夫がなされているのかを検証する。</p>		
<b>7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）</b>	<p>(1) 1年生「家庭基礎」の授業でUDやノーマライゼーションについての学習。</p> <p>日常生活で車いすを使用している生徒や怪我等で日常生活で困難に感じたことのある生徒を中心にクラスでディスカッション形式の意見交換を行った。また、車いすの介助をする上で気をつけること、心配なことなどの意見もあり、よりよい生活空間づくりを考えることができた。</p> <p>(2) 3年生の「フードデザイン」の授業</p> <p>障害により包丁の使用が困難な生徒がいるので、UD包丁を購入。数人の生徒で使用し、使いやすさなどを検証した。</p>		
			
<b>8 取組の成果と課題</b>	<p>1年生は授業実施前から車いすの介助等は誰もが自然とできてはいたが、お互いに意見を出し合うことで他者の気持ちを理解し、さらに誰もが過ごしやすい生活環境づくりを心がけるようになった。車いすを使用し生活している生徒2名も1年間順調に高校生活をおくることができた実感している。</p> <p>3年生では1年間調理実習を中心に授業展開をしてきた。UD包丁の使用や車いすの生徒が調理しやすいように調理台は試食テーブル、ガスコンロは卓上コンロでと試行錯誤での授業となった。特にUD包丁については、様々な意見が出たので、その意見を今後は、下級生に引継ぎ新たなUD包丁開発のアイデアへとつなげていきたいと考えている。</p> <p>本校では、今後も多様な生徒の生活状況を生徒同士が認め合い、工夫しあいながら生活できるようなサポートを行っていきたい。</p>		